

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 14 日

事業名称	会計事務費 [資金調達事務]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 5	会計管理費	事業番号 1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名	会計 課 出納 係			課長名		木村 西		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					施策番号	行 - 2	
						総合計画書(ページ)	122	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 資金調達が必要な会計 (一般会計、特別会計、公営企業会計)			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 一般会計、特別会計、公営企業会計で支払いを行った回数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 支払予定額に対する残高が確保されている。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 支払時に残高が不足した会計数				
	③ そのために何をしましたか。 収支を把握し、資金不足が見込まれる会計に繰替運用した。 ①一般会計 ②特別会計(国民健康保険事業、土地区画整理事業、介護保険事業、後期高齢者医療) ③公営企業会計(下水道事業)			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 不足が見込まれ、現金の調達を行った回数。				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	回	827	896	847		
	成果指標	②の数値	会計	0	0	0		
	目 標	②の目標値	会計	0	0	0	0	0
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 支払見込額を把握し、残高不足を回避する。								
3 経費	事業費(実績)		円	128,412	130,033	134,289	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	128,412	130,033	134,289		
		特定財源	円	0	0	0		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	959,412	968,033	959,289			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 正確な資金不足見込額を把握する。							
	5 今後の方向性 仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 引き続き、各課の協力により、正確な収支の把握に努める。							